

# VTR・スイッチャーの設定

## 当社 VTR の設定

機種	設定
S-VHS AG-7750 7750H 7650 7650H	1) 9P DEVICE TYPE を S-VHS ID にする。 SET UP MENU No. 3002 : S-VHS ID(01) 2) PLAY DELAY を 0 FRAME にする。 SET UP MENU No. 4003 : 0 FRAME(00) 3) TC を使用するとき、ポケット内のスイッチを INT, PRESET, FREE RUN にする。 (AG-7750(H)のみ) 4) LTC を使用するとき、ポケット内のスイッチをオーディオ ch2 を LTC にする。 5) REMOTE OPERATION を 9P にする。 SET UP MENU No. 3003 : 9P(00) 6) FRAME SERVO を ON にする。 SET UP MENU No. 4005 : ON(O1) 7) SHORT FF を ON にする。 SET UP MENU No. 1007 : ON(O1) 8) フロントのモードスイッチを PLAYER 側は PLAY, RECORDER 側は EDIT に設定する。 (AG-7750(H)のみ) 9) CONTROL SW を REMOTE にする。
S-VHS AG-DS850 DS840 DS555 DS545 DS550 DS540	1) 9P DEVICE TYPE を S-VHS ID にする。 SET UP MENU No. 5002 : S-VHS ID(01) 2) PLAY DELAY を 0 FRAME にする。 SET UP MENU No. 6004 : 0 FRAME(00) 3) TC を使用するときには INT, FREE RUN にする。 SET UP MENU No. 7001 : INT(00) SET UP MENU No. 7002 : FREE RUN (02) SET UP MENU No. 7007 : UB (02) 以外 (AG-DS850/DS555/DS550のみ) 4) LTC を使用するとき、オーディオ ch2 を LTC にする。 SET UP MENU No.3006 : LTC(O1) 5) 調相するとき、DIGITAL SLOW SW を OFF または 1 にする。 (AG-DS850/DS840のみ) 6) FRAME SERVO を ON にする。 SET UP MENU No. 6005 : ON(O1) 7) SHORT FF を ON にする。 SET UP MENU No. 1006 : ON(O1) 8) CONTROL SW を REMOTE にする。

機種	設定
MII AU-660 650 640 630 620 60	1) 9P DEVICE TYPE を M2 ID にする。 L6 基板 SW3-5 : ON 2) PLAY DELAY を 0 FRAME にする。 L6 基板 SW5-1 ~ 4 : OFF (AU-650/620 を除く) 3) TC を使用するときには, INT, PRESET, FREE RUN にする。 (AU-660/650/640のみ) 4) HEAD SW を PLAYER 側は PLAY, RECORDER 側は R/P に設定する。 (AU-660/650/640のみ) 5) CONTROL SW を REMOTE にする。 [注意] AU-650 はカラーフレーミング編集ができません。
MII AU-W35H/R W33H/R W32H/R 655 66H 65(H) 63(H) 62(H)	1) 9P DEVICE TYPE を M2 ID にする。 SETUP MENU No. 3004 : M2 ID (2) 2) TC を使用するときには、AU-F65 を装着する。 (AU-66H/65(H)/63(H)/62(H)のみ) 3) TC を使用するときには、INT, PRESET, FREE RUN にする。 (AU-W35H/665/66H/65(H)のみ) 4) HEAD SW を PLAYER 側は PLAY, RECORDER 側は R/P に設定する。 (AU-665/66Hのみ) 5) CONTROL SW を REMOTE にする。
DVCPRO AJ-LT75	1) ID SEL を DVCPRO ID にする。 SET MENU No. 200 : DVCPRO (1) (VTR1, 2 ともに設定) 2) PLAY DELAY を設定する。 SET UP MENU No. 301 : 0 or 4 (VTR1 : 0 FRAME に設定。VTR2 : レコーダーするときには 4 FRAME に、プレーヤーにするときには 0 FRAME に設定する。 3) TC を使用するときには INT, PRESET, FREE RUN にする。 SET UP MENU No. 507 : P-FREE (1) (VTR2 をレコーダーにするときのみ) 4) CONTROL SW を REMOTE にする。

### [ご注意]

次の VTR はカラーフレーミング編集に制限があります。

NTSC: S-VHS フォーマットの VTR は、カラーフレーミング編集はできません。

PAL: S-VHS フォーマットの VTR は、8 フィールドのカラーフレーミング編集はできません。

- ・設定の必要なスイッチが機器の内部にある場合に、お客様ご自身でカバー等はずしてスイッチの変更をされると、感電や故障の原因となる恐れがあります。機器をお買い求めになられました販売店か、当社サービス窓口にご相談ください。

# VTR・スイッチャーの設定

## 当社 VTR の設定

機種	設定
DVCPRO AJ-D750 D650 D640	1) ID SEL を DVCPRO ID にする。 SETUP MENU No. 202 : DVCPRO (1) 2) PLAY DELAY を 0 FRAME にする。 SETUP MENU No. 106 : 0 FRAME (0) 3) 9P SEL を ON する。 SETUP MENU No. 201 : ON (1) 4) VAR RANGE を -4 ~ +4 にする。 SETUP MENU No. 300 : 1 本設定がないときは、 ・ VAR STEP を FINE にする。 SET UP MENU No. 316 : FINE (0) ・ VAR FWD MAX を +4.1 にする。 SET UP MENU No. 317 : +4.1 (0) 5) TC を使用するときには、INT, PRESET, FREE RUN にする。 ・ フロントパネルのスイッチを INT にし、ポ ケット内のスイッチを PRESET, FREE RUN にする。 (AJ-D750 のみ) ・ ポケット内のスイッチを INT にする。 (AJ-D650 のみ) ・ SET UP MENU No. 504 : OFF (0) (AJ-D650 のみ) ・ SET UP MENU No. 510 : FREE (1) (AJ-D650 のみ) 6) CONTROL SW を REMOTE にする。
D5/D3 AJ-D580 D350 D351 D360	1) 9P DEVICE ID を DEFAULT にする。 INTERFACE SETUP MENU : DEFAULT 2) RS-422 制御モードを設定する。 INTERFACE SETUP MENU : MODE-1 3) TC を使用するときには、INT, PRESET, FREE RUN にする。 TC/CHR MENU : INT, PRESET, FREE RUN 4) CONTROL を REMOTE にする。 HOME : REMOTE (AJ-D350/D351) CONTROL SW : REMOTE (AJ-D580)

## 当社 DISK の設定

機種	設定
DISK LQ-D5500	1) DEVICE TYPE を LQ-D5500 にする。 SETUP MENU No. 6-10 : LQ-D5500(0) 2) PLAY DELAY を 0 FRAME にする。 SETUP MENU No. 6-3 : 0 FRAME(0) 3) EDIT DELAY を 3 FRAME にする。 SETUP MENU No. 6-4 : 3 FRAME(3) 4) TC の設定を INT, PRESET, FREE RUN にす る SETUP MENU No. 4-1 : PRESET(0) SETUP MENU No. 4-2 : FREE. RUN(1) 5) CTL のモードを選択する。くわしい内容は、 LQ-D5500 の取扱説明書をご覧ください。 SETUP MENU No. 5-6 : CTL(0)/ATC(1) 6) カラーフレーミング編集を行うときは COLOR FRAMING を ON にする。 SETUP MENU No. 6-5 : ON(1) 7) スプリットモードを選択する。くわしい内容 は、LQ-D5500 の取扱説明書をご覧ください。 SETUP MENU No. 6-9 : ON(1) 8) CONTROL を REMOTE にする。
DISK LQ-4100	1) 9PDEVICE TYPE を LQ-4100 にする。 SETUP MENU No. 1-4 : AOA1 2) EDIT TIMING を 5 FRAME にする。 SETUP MENU No. 1-2 : 5 FRAME 3) PREROLL TIME を AG-A850 とあわせる。 SETUP MENU No. 1-1 : 5 SEC (標準) 4) CONTROL を REMOTE にする。 [注意] ・ スレーブ VTR として使用できません。 ・ LQ-4100 のソフトウェアのバージョンにより 動作しないことがあります。

・設定の必要なスイッチが機器の内部にある場合に、お客様ご自身でカバー等はずしてスイッチの変更をされると、感電や故障の原因となる恐れがあります。機器をお買い求めになられました販売店か、当社サービス窓口にご相談ください。

# VTR・スイッチャーの設定

## JVC 社 VTR の設定

機 種	主な設定 / AG-A850 接続時注意点
BR-S822 S622 S525 (SA-R22 含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9PIN DEVICE TYPE ID を JVC SVHS-1 にする。</li> <li>・VIDEO EDIT DELAY を 8 FRAME にする。</li> <li>・AUDIO EDIT DELAY を 8 FRAME にする。</li> </ul> [注意] TC インサート編集はできません。
BR-S800 (SA-K26 SA-R50 SA-N50 含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9PIN DEVICE ID を JVC SVHS-1 にする。</li> <li>・VIDEO EDIT DELAY を 8 FRAME にする。</li> <li>・AUDIO EDIT DELAY を 8 FRAME にする。</li> <li>・SYNCHRONIZATION を ENABLE にする。</li> </ul> [注意] <ul style="list-style-type: none"> <li>・TC インサート編集はできません。</li> <li>・ファーストエディット編集時、タイムコードは設定できません。</li> <li>・オーディオスプリット編集時、編集点がずれることがあります。</li> </ul>
PR-D85 D80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9PIN DEVICE ID を JVC D80 にする。</li> <li>・タイムコード設定は、INT、FREE、PRESET にする。</li> </ul> [注意] <ul style="list-style-type: none"> <li>・アッセンブル編集、ファーストエディット編集を行うと、編集終了後 VTR が FF 動作を行うことがあります。</li> <li>・ソース VTR のスロー再生信号の品質により、編集できないことがあります。</li> <li>・カラーフレーミング編集はできません。</li> </ul>

上記以外の設定は、「システム設定」および、各 VTR のマニュアルをご覧ください。

## SONY 社 VTR の設定

機 種	主な設定 / AG-A850 接続時注意点
BVU-800	CTL 編集のみ可能
BVU-950	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TCG/R 別売・TC インサート編集不可</li> <li>・TC スイッチ (サブパネル) は SREVO LOCK=INT に設定</li> <li>・カラーフレーミング編集はプリロール時間を 10 秒以上に設定</li> </ul>
EVO-9800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調相不可・PLAYER のみ可・外部同期不可</li> <li>・AG-A850 の REF. IN は EVO の VIDEO OUT を接続</li> <li>・レコーダー VTR の REF.IN に入力しないレコーダー VTR はインカムロックにする。</li> <li>・SYNC SELECT : NORM (S-VHS)</li> <li>・SYNC : AUTO (MII)</li> </ul>
EVO-9850	調相を失敗するときは、SYNC GRADE をおとす。
PVW-2800 PVW-2650 PVW-2600	TC を設定するときは、INT、PRESET、FREE RUN にする。
BVW-75	TC を設定するときは必ず INT、PRESET、FREE RUN にする。 カラーフレーミング編集はプリロール時間を 10 秒以上に設定する。

上記以外の設定は、「システム設定」および、各 VTR のマニュアルをご覧ください。

- ・設定の必要なスイッチが機器の内部にある場合に、お客様ご自身でカバー等はずしてスイッチの変更をされると、感電や故障の原因となる恐れがあります。機器をお買い求めになりました販売店か、機器メーカーにご相談ください。
- ・他社製品につきましては、仕様変更等によりここで記載した設定で動作しないことがあります。

# VTR・スイッチャーの設定

## ビデオスイッチャーの設定

機種	主な設定 / AG-A850 接続時注意点																											
共通	1) AG-A850のSET UP MENU “SW'ER SELECT” を、接続する機種に合わせる。 2) [EDITOR ENABLE] ボタンのある機種は、ランプを点灯させる。 3) フレームシンクロナイザーを内蔵するスイッチャーを使用するときは、機器に応じた遅延フレームをAG-A850のSET UP MENU “DVE DELAY” で設定する。																											
WJ-MX50	1) リアパネルのEDIT CONTROLスイッチをRS422にする。 2) アナログ基板のスイッチを以下のように設定する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>SW702</td> <td>on</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>on</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> </tr> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	SW702	on	off	off	off	on	off	off	off									
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
SW702	on	off	off	off	on	off	off	off																				
GVGモデル100	1) 067714 SIA基板のスイッチを以下のように設定する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>S1</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> </tr> <tr> <td>S2</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>on</td> </tr> </table> S3: “RS422” 表示側 S4: “38400” 表示位置 S5: “ON” 側 S6: “RS422” 表示側 2) [EDITOR ENABLE]ボタンを押してランプを点灯させる。		1	2	3	4	5	6	7	8	S1	off	off	on	on	off	off	off	off	S2	off	off	off	off	off	off	off	on
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
S1	off	off	on	on	off	off	off	off																				
S2	off	off	off	off	off	off	off	on																				
DFS-500	1) 編集機選択スイッチ (SY-172 基板) をBVE-900の位置にする。 2) AG-A850のSET UP MENU “SW'ER PVW MODE” を“EE” にする。																											
DFS-300	1) 編集機選択スイッチ (SY-199 基板) をPVE-500の位置にする。 2) AG-A850のSET UP MENU “SW'ER PVW MODE” を“EE” にする。 3) AG-A850のSET UP MENU “SW'ER SELECT” を“DFS-500” にする。																											
KM-3000	1) CPU 基板スイッチを以下のように設定する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>S3</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> </tr> <tr> <td>S4</td> <td>off</td> <td>on</td> <td>on</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> <td>off</td> </tr> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	S3	on	on	on	on	on	off	off	off	S4	off	on	on	off	off	off	off	off
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
S3	on	on	on	on	on	off	off	off																				
S4	off	on	on	off	off	off	off	off																				

上記以外の設定は、各ビデオスイッチャーのマニュアルをご覧ください。

## ビデオスイッチャーの設定

機種	主な設定 / AG-A850 接続時注意点
VPS-300	1) CPU 基板 DS2-7 は OFF (初期設定) にする。 2) AG-A850 の SET UP MENU “SW'ER PVW MODE” を “EE” にする。

- ・ GVGモデル100は、THE GRASS VALLEY GROUP社の製品です。
- ・ DFS-500/300は、SONY社の製品です。
- ・ KM-3000はビクター社の製品です。
- ・ VPS-300は朋栄社の製品です。

## オーディオミキサーの設定

機種	主な設定 / AG-A850 接続時注意点
共通	1) AG-A850のSET UP MENU “MIXER SELECT” を、接続する機種に合わせる。 2) システム (チャンネル数他) に合わせて、ミキサーの設定をする。 3) フェーダーレバー、LOCALスイッチ等を適宜設定する。
PAM-300 (PAM-300IF含む)	1) PAM-300IFの設定を38.4 Kbps. ODD, ESAM-II, フレームレート (NTSC : 30F, PAL : 25F) にする。 2) EDITORスイッチを点灯させる。
MPX-S390	1) MODEスイッチをEDITORにする。
D/ESAM200	1) 内部スイッチを38.4 Kbps. ODDに設定する。 2) EDIT I/Fスイッチを点灯させる。
O3D (O3DVEK含む)	1) AG-A850のSET UP MENU “MIXER SELECT” を“DESAM200” に設定する。 2) MIDI/HOSTページのHOST INTERFACEをEDITOR TO EDITORをENABLE PARITY FLAGをODDにする。

上記以外の設定は、各オーディオミキサーのマニュアルをご覧ください。

- ・ PAM-300は朋栄社の製品です。
- ・ MPX-S390は、SONY社の製品です。
- ・ D/ESAM200はGRAHAM-PATTEN SYSTEM社の製品です。
- ・ O3Dは、ヤマハ社の製品です。

- ・ 設定の必要なスイッチが機器の内部にある場合に、お客様ご自身でカバー等はずしてスイッチの変更をされると、感電や故障の原因となる恐れがあります。機器をお買い求めになりました販売店か、機器メーカーにご相談ください。
- ・ 他社製品につきましては、仕様変更等によりここで記載した設定で動作しないことがあります。